

「生活者としての外国人」についての 文字とリテラシー

新矢 麻紀子

大阪産業大学国際学部

「生活の漢字」をかんがえる会

makiko@int.osaka-sandai.ac.jp

1

報告者の文字・リテラシー教育と研究に関する背景

- ・「非漢字系生活者としての外国人」を対象とした文字教育実践
「生活の漢字をかんがえる会」メンバー(文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業)
- ・日本における外国人のリテラシーに関する調査研究と教育実践
「定住外国人のリテラシーの実態把握と環境改善に関する研究」(科学研究費補助金挑戦的萌芽研究(平成25-28年度))
「移住女性のリテラシー保障に向けた学習支援体制と地域コミュニティの構築に関する研究」(科学研究費補助金基盤研究(C)(平成28-令和元年度))
- ・マイノリティの識字教育をはじめとする基礎教育保障に関する調査研究と教育実践
識字・日本語教室における実践と調査
夜間中学における識字教育や外国人生徒への日本語教育について
日韓共同プロジェクト(学習者交流、支援者交流)
アメリカでの第二言語教育としての英語教育について(特にリテラシーの養成)
韓国での識字能力調査に関する調査
- ・漢字教材開発
『みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ 第2版 漢字』スリーエーネットワーク(共著)
『新にほんご<生活の漢字>漢字み~つけた』アルク(共著)

「生活者としての外国人」の日本語能力と学習の実態

- 日常会話レベルの口頭言語能力は有する場合が多い(自然習得も)
- 書記言語能力**(文字(特に漢字)、文の読み書き)は不十分または有さない
 - **自然習得はほぼ不可能**(衣川2000、富谷他2009、新矢2013、他)
 - **学習機会の保障と文字・リテラシー教育の指針や指標が必要**

☆口頭言語と書記言語の違い

- ・**口頭言語・日常生活言語**・・・**自然習得**が生じやすい
 - 発音が不正確 → 通じる
 - 単語の羅列 → 通じる
 - 文法(助詞や活用)が不正確 → 通じる
- ・**文字言語・学習言語・職業言語(専門)**・・・**自然習得が期待できない**
 - 知らない、不正確 → 仕事や学校では通用しない
 - 「漢字ができれば、もっといい仕事ができるのに・・・」

=被差別部落出身者、在日コリアン等の非識字問題と同一 → **リテラシーの保障が必要**

「生活者としての外国人」の日本語能力と学習の実態

◇「生活者としての外国人」が書記言語能力を獲得できない理由

- ・**日本語教室の不在**(空白地域:全国の地方公共団体の約2/3)
- ・日本語教室に参加できない
- ・日本語教室の時間・頻度の問題:「週に1回、2時間」
- ・**地域日本語教育専門家と適切なカリキュラムの不在**
 - 日本語教室での学習内容の課題:「**まずは会話**」→文字は後回しに
 - 日本語教室での文字学習方法の課題:
 - 「漢字を何回も書いて、音訓を全て暗記」→苦痛な学習、**漢字嫌い**を産み出す
 - 「**漢字学習支援の方法がわからない**」(日本語ボランティアの声)
 - 実態の見誤り、不正確なニーズ把握:
 - 「学習者の要望がない」「家族がいるから大丈夫」

「生活の漢字」の教育実践

■ 「生活者としての外国人」のための文字教育

—始め、続け、生きていくためのリテラシーを獲得するために

☆文字学習に特化した専門家による日本語教育活動(「生活の漢字」をかんがえる会)

文化庁

○地域日本語教育支援事業(平成18,19,20年度)

○「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

・活動主体:「生活の漢字」をかんがえる会(2019年度 9名)

・主催:多文化共生センター大阪、ダイバーシティ研究所(2018~)

◆文字教室 平成18,19,22,23,24,25,26,27,28,29,30,令和元年度

・開催場所:大阪市総合生涯学習センター(大阪駅前、PC室あり)

・学習者:申込み52名→先着25名(滞日0か月-30年。20-50代。男性4名・女性21名。非漢字系9か国)

◆教材作成 平成20,25,26,27,28,29,30,令和元年度

◆ボランティア、コーディネーター養成講座 平成25, 26, 27, 28, 29, 30,令和元年度

「生活の漢字」の理念と目的

☆ 学習した漢字/漢字語の知識が、今日の生活から
役に立ち、生活の質が向上する(即興的対応)

毎回、「おみやげ」がある

☆ 「**楽に、楽しく、漢字学習**」

☆ 基礎体力と自律学習能力の養成(長期的対応)

「生活の漢字」の学習内容と方法

1. 学習項目

× 漢字 → ○ 漢字語

2. 学習順序

× 易しい漢字/漢字語 → ○ 生活上で必要な漢字語

→ これまでの日本語教育や国語教育における漢字の難易度や提出順序とは異なる発想や基準が必要であることが、教育実践や調査から示唆された(新たなシラバス)

3. 学習目標

漢字語の意味と読みがわかるようになること → リテラシーの獲得

4. 学習方法

学習する漢字語を、出現する生活場面(context)全体で切り取る→写真とPCの活用

既得(既習)の語彙知識の活用(知っている語彙に、漢字を貼り付ける)

漢字学習の基礎体力の養成

・弁別能力養成

・書き順の基本(Basic Strokes)と手書き練習

→ 字体認識能力養成のため。そらで書けることは目標としない。

5. 学習テーマ (資料参照)

カリキュラム案を参考にして、日常生活の場面から。1テーマを1~2回で完結。

文字・読み書きをめぐる外国人の声

<学習を始める前>

- ・ 漢字がわからなくて恥ずかしい。漢字を勉強したい。
- ・ 字がわからないから、出かけるのがこわい。
- ・ 子どもの学校からの手紙が読みたい。
- ・ 字が下手で恥ずかしい。きれいに書きたい。
- ・ 子どもの勉強を見てあげたい。
- ・ 漢字ができれば、もっといい仕事ができるのに..

⇒ 読み書きが必要! 学びたい!

<コース終了後>

- ・ いま、漢字が前よりも好きです。毎日、漢字を勉強したいです。メールでたくさんの漢字を書けるようになりました。
- ・ はい。わたしは幸せで、漢字を勉強した自分を誇りに思う。
- ・ インターネットやスマホのアプリを使って勉強します。
- ・ 別の教室で勉強を続けます。
- ・ 自分の住所を漢字で書けるようになった。
- ・ 今、夫の手助けなしで病院に行けたり、他の場所に行けたりすることに自信がもてている。
- ・ 少し勇気をもてるようになった。一人で電車に乗って、ゆっくり読んでみるようになった。乗り換えがこわくなくなってきた。

「生活の漢字」



学習支援者2~3名 (専門家、元日本語学習者)

日本語教育の標準における文字の扱いについて一実践や調査から得られた知見から

○ 漢字・漢字語について …「漢字」「語彙」の能力

1. 単漢字

- ・単漢字のレベル別抽出・選択は困難であろう(読み・書きとも)
「生活」のなかで必要とされるのは、「漢字」ではなく、「漢字語」の知識
→ 将来的に、ある程度の漢字語が選択された後に、基本漢字の選定が可能になるかもしれない

2. 漢字語

- ・読みと意味は、「生活者」に共通するテーマ、場面別に抽出・選択が可能かもしれない(資料参照)
→ 場面・行動のCan-do Statementsは、現時点では作成困難であろう
- ・書きは、生活場面でだれもが共通して書かなければならない語彙の抽出は困難であろう

○ 読みと書きについて …「読解能力」「書記能力」

1. 読み

- ・語彙としては抽出・選択が可能かもしれない(上記)

2. 書き

- ・「生活者」全てに共通して書かなければならない語彙や文章は非常に限られている
→ 「住所と名前が書ける」等の能力Can-doは可能であろうが、場面・行動Can-doは困難

日本語教育の標準における文字の扱いについて一実践から得られた知見から

☆ 読み書き(literacy)について

リテラシーは、UNESCO(2004)が提唱した「識字の多元性(plurality of literacy)」やNew Literacy Studies が言うような、文脈に埋め込まれた社会的概念であり、文化や個人の状況の異なりによって「多様なリテラシー(literacies)」が存在すると考えられる。

個人の文字習得数や読み書きの能力だけではなく、個々の有する人的資源や生活環境、社会的背景や制度まで含めた文脈までも考慮しなければ説明できない事象が生じていることが具体的事例から示された。

(新矢・棚田2016)

→ 職業や社会への参画のあり方の違いにより、各自に求められるリテラシーには大きな差異があるため、「生活者」としてだれにでも共通するような場面や状況における語彙(漢字語)以外/以上は、共通したものを抽出・選択することが困難であろうと考えられる。

参考文献

- ・衣川隆生(2000)「就労を目的として滞在する外国人における識字能力の現状と今後の課題」『文藝言語研究. 言語篇』第37号, 107-127
- ・金侖貞・新矢麻紀子(2019)「韓国で識字能力はどのように測られているのか」『基礎教育保障学会第4回研究大会』研究発表
- ・ジェイコブソン, エリック(Erik Jacobson)著・新矢麻紀子訳(2016)「米国の成人教育がかかえる現代的緊張関係」『部落解放研究』205号, 182-192. 部落解放・人権研究所
- ・新庄あいみ・新矢麻紀子・永井慧子・御子神慶子・WOO Wai Sheng(2012)「定住外国人に対する漢字学習の必要性とその実践」『2012年日本語教育国際研究大会』2012年8月, 名古屋大学
- ・新矢麻紀子(2013)「地域日本語教室における文字学習支援の課題と可能性」『大阪産業大学論集人文・社会科学編』17号, 19-33.
- ・新矢麻紀子・棚田洋平(2016)「日本語教室不在地域における国際結婚移住女性のリテラシー補償と社会参加：生活史と学習環境に着目して」『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』26号, 37-52.
- ・生活の漢字をかかんがえる会(新庄あいみ・新矢麻紀子・永井慧子・御子神慶子・WOO Wai Sheng) (2010)『新にほんごく生活の漢字>漢字み〜つけた』アルク
- ・生活の漢字をかかんがえる会(新矢麻紀子・新庄あいみ・棚田洋平・御子神慶子) (2017)「「生活者としての外国人」に対する基礎的なリテラシーを保障するための漢字教育」『基礎教育保障学会第2回研究大会』研究発表
- ・富谷玲子・内海由美子・斉藤祐美(2009)「結婚移住女性の言語生活-自然習得による日本語能力の実態分析-」『多言語多文化-実践と研究』第2号, 116-137. 東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
- ・西口光一監修・新矢麻紀子・古賀千世子・高田亨・御子神慶子著(2014)『みんなの日本語初級 I 第2版 漢字 英語版』スリーエーネットワーク
- ・UNESCO(2004) *The Plurality of Literacy and its Implications for Policies and Programmes*, UNESCO Education Sector Position Paper.

令和元年度文化庁事業 漢字教室(30回) 日程

資料 7

回	年月	日	教室	テーマ	扱った漢字語(例)
1	6月	25	メディア	開講式、文字能力診断テスト、アンケート、平仮名・片仮名	
2	7月	2	メディア	パソコン入力	
3		9	第5研修室	片仮名、クラスメートと仲良くなる	※カタカナ語
4		16	メディア	カレンダー	年、月、日、曜日の漢字、漢数字 など
5		23	第5研修室	カレンダー	
6		30	メディア	漢字を見つけよう	女性用、階段、倉庫、缶以外、情報、避難、非常電話、現在地 など
7		6	第5研修室	漢字を見つけよう	
8	8月	20	メディア	駅	新快速、快速、普通、特急、急行、大阪駅、梅田駅、白、黄 など
9		27	第5研修室	駅	
10	9月	3	メディア	住所	国、都道府県、市町村、大阪、兵庫、各自の住所・名前(家族) など
11		10	第5研修室	住所	
12		17	メディア	スーパー	本日広告の品、半額、3割引、米、酒、茶、花、豚肉、牛肉、鶏肉、～産、アレルギー表示 など
13		24	第5研修室	スーパー	
14	10月	1	メディア	学校	学校、保育園、幼稚園、大阪市立、年組、番、案内、連絡、提出など
15		8	第5研修室	学校	
16		15	メディア	電気製品	炊飯器、電源、予約、洗濯機、切る、一時停止、運転、冷房 など
17		29	第5研修室	電気製品	
18	11月	5	メディア	料理	焼く、炒める、蒸す、ご飯を炊く、揚げる、計量、計る など
19		12	第5研修室	料理	
20		19	メディア	もみじがり	大阪城公園駅、お手洗い、集合、解散、橋、門、禁止、お断り など
21		26	大阪城公園	もみじがり	
22	12月	3	メディア	病院	病院、医院、内科、外科、歯科、耳鼻科、小児科、休診、午前 など
23		10	第5研修室	病院	
24		17	メディア	薬	処方せん、調剤薬局、内服薬、外用薬、1日2回5日分、毎食後 など
25	1月	7	第5研修室	復習・まとめ・作文	※ここまで習った漢字の復習
26		14	メディア	銀行	銀行、支店、口座番号、申込書、生年月日、お引き出し、残高 など
27		21	第5研修室	銀行	
28		28	メディア	仕事	履歴書、学歴、職歴、入学、卒業、入社、退社、特技、希望 など
29	4	第5研修室	仕事		
30	2月	18	第5研修室	閉講式、最終テスト、アンケート	